

6月 モニターレポート		担当出張所
担当区間	淀川中流右岸 三島江河川公園～檜尾川合流点（右岸23.0km～28.2km）	
モニター実施日時	令和2年6月20日（土）14:00～16:30 6月22日（月）15:30～17:00	
天候	晴	
<p>（見出し）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大塚河川敷公園から三島江河川公園の利用状況を報告します。 ・三島江河川公園→大塚河川敷公園→演習橋間の動植物の様子を報告します。 		
<p>6月20日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつものモニターセット（カメラ、水、双眼鏡、メモ）を持って出発。大塚河川公園の駐車場は9割ほど埋まっている。サッカーチーム・野球チームなど子ども達のグループがあちこちでプレーしている。親子連れ、兄弟、友達などのグループが多い。 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ横でゴーヤが育っていた。担当の方がお世話してくださっているのだから元気に茂っている。これからの厳しい暑さが少しは和らぐだろう。見ているだけで涼しげで気持ちがいい。 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒメジョオンにとまったベニシジミ 		



- ・ 昨日の雨で水量が増えて船着き場にも水が入っていた。親子連れが3人遊んでいる。対岸は枚方市。改めて、淀川は大きく雄大だ。



- ・ ラッパの大きな響きが聞こえてきたので見回すと高校生2人が吹いていた。ここなら思い切り練習ができるだろう。感染症で休止になっていた学校の部活が始まったのだろう。良かった。



- ・ 釣りを楽しむカップル。お邪魔にならないように遠くから撮影した。



三島江河川公園は野草園の名のとおり興味深い植物が多い。レースフラワーのような白くて美しい花。つぼみの形はユニーク。



こちらはワルナスビ。棘をつけた葉が名前の由来なのだろうか。可憐な花なのにかわいそうな名前。



・先月はこの角度から切り株がたくさん見えたが、今は草で覆われて何も見えない。これから夏草がどんどん伸びていくのだろう。

昨年モニターを始めたころ、高水敷の道から川面は全く見えなかったの、またじきにそうなるのだろう。

11tak 森下モニター【淀川】

・ここはゴルフ場沿いの道。このように数か所水が流れている。向かって左側は土手になっているので、水が出るような場所ではないので不思議。



・大塚河川公園は5時を過ぎると野球やサッカーの子ども達が帰り支度を始めた。それと入れ替わるように散歩の人がたくさんになった。犬を連れた人もたくさんいた。夕方涼しくなったからの人の動きはゆっくりで趣があった。

6月22日2度目のモニターへ。ボールをもってノルディックウォークで大塚河川公園から演習橋に向かう。



木の実を求めてムクドリが群れていたこの木は「センダン」。葉を茂らせて夏仕様になっている。



水辺の植物ガマを見つけた。足元を見るとこの辺りは湿っていた。たくましい生命力に驚いた。

・モニターレポートは今回が最終回。これまでではただ草が生えているとしか思わなかったが、回を重ねるうちに少しずつ名前がわかるようになった。先月に満開だった野バラは、はや小さな実をつけている。ヘクソカズラはかれんな花をつけ、クズは勢いよく蔓を伸ばしている。これらひとつひとつが興味深くまたいとおしく感じるようになった。ホオジロ、オオバン、オオヨシキリ…スズメとカラスに加えてたくさんの鳥がわかるようになったのはバードウォッチングの人のおかげです



・演習橋の下たくさんのアメンボがいた。水の上をすいすいと移動しているすがたはかわいい

・サイクリング、散歩、ジョギング、野球やサッカーいろいろな人が憩いを求めて川のまわりに集まっている。遊歩・、草や木・時間も空間もすべて淀川河川事務所の日常管理のたまものと知った。トイレ清掃をはじめトンクとポリ袋を片手に自転車でごみを集める管理員の姿をよく見かけた。豊かな自然環境を守り市民に提供していただけることを感謝しながら6月の報告といたします。1年間、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

(意見・感想・処置等)

6月に入り気温も30度を超える日が出てきました。季節はすっかり夏ですね。

大塚地区と枚方地区では、一部のトイレにゴーヤ「グリーンカーテン」を設置しております。夏を彩る爽やかなグリーンカーテンは、建物の壁などに熱を蓄積させないので、少しでもトイレ利用が快適になればいいですよ。また場所を取らずに菜園ができるのもポイントです。立派な実がなるのは1ヶ月位先でしょうか。楽しみです。

大塚船着場がすっかり水に浸かっていますね。おっしゃるように確かに淀川は「雄大」です。その雄大な淀川を体感できるように本来は、河川は自由に利用して頂くものです。しかし、これこれからの季節、梅雨、台風や豪雨など、降雨量が多く洪水が起こりやすい時期には、自然の脅威も見せつけられます。写真のような増水時には、釣りをする方や河岸近くで遊ぶ子供達の安全を考え、巡回パトロールなどで危険と判断した場合は、カラーコーンの設置や、トラロープを張るなどして立ち入らないように注意喚起を行う場合があります。

それでは、今回で最後のレポートになりますが、普段とは違う淀川を体験できたのではないのでしょうか。そして河川敷での人々の様子や動植物などを沢山モニターしていただき、いつも楽しく拝見させていただくことができました。

また淀川について何かお気づきの点などありましたらお知らせ下さい。一年間お疲れ様でした。